

かけはし



伊賀市立三訪小学校だより
2023年 9月 15日 No.13
発行責任者 高橋 昌史

全国学力・学習状況調査の結果より

1. 学力調査の結果

◇ 国語：「全国と比べてやや下回っている」 ◇ 算数：「全国と比べて上回っている」

- * 「全国と比べてやや下回っている」⇒本校の正答率が、全国正答率に対して-2%以上～-5%未満
- * 「全国と比べて上回っている」⇒本校の正答率が、全国正答率に対して+5%以上

2. 学力の状況

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの強み】

● 国語 ●

- 漢字を文の中で正しく使うことができる。「期間（きかん）」という漢字が書ける。
- 送り仮名に気をつけて、漢字を文の中で正しく使うことができる。「比べる」
- 目的を意識して、中心となる話や文を見つけて、要約することができる。
- 目的に心じて、文章と図表を結びつけるなど、必要な情報を見つけることができる。

● 算数 ●

- 比例の関係を用いて、求め方を式や言葉を使って書くことができる。
- 台形の意味や性質について、「向かい合った1組の辺が平行な四角形」を選ぶことができる。
- 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し正しく計算ができる。
- 百分率で表された割合について理解し、示された文から、30%のものを選ぶことができる。
- 「以上」意味を理解し、表から必要な数を読み取ることができる。

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの課題】

▲ 国語 ▲

△ 図やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように、米作りの問題点と解決方法を書く。

問題 「川村さんは、選んだカードをもとに、学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。条件に合わせて書きましょう。」

条件① 問題点について書く。 条件② 解決方法について書く。 条件③ 60字以上100字以内で書く。

正答例 「グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養を取られて収量が減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。」

※ 解決方法を書くことができても、グラフやカードから分かることをもとにして問題点を書くことができている子が少なかったです。以下の国語の課題も同じですが、問題の条件に合わせて書く力を身につけることが必要だと考え、記述に慣れる指導をしていきます。

△ 資料を読んで、運動と食事についてわかったことをもとに、自分ができることを書く。

△ 目的や意図に心し、話の内容を捉え、どのような思いでボランティアを続けているのか、わかったことをまとめて書く。

▲ 算数 ▲

△ 正三角形の意味や性質について理解している。

△ 高さが等しい三角形の、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、理由を言葉や数を用いて書く。

問題 「2つの三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。1から4までの中から1つ選んで、番号を書き、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。」

条件① 底辺の長さが等しいことを表す言葉や数を書く。条件② 高さが等しいことを表す言葉や数を書く。

正答例 「三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができる。2つの三角形の底辺はどちらもも3.2 cmなので等しい。高さはテープの幅がどこも同じ長さなので等しい。だから、2つの三角形の面積は等しい。」

※ 底辺の長さと高さが同じであると、三角形の形が違っていても面積が同じことに気づけていない子が多かったです。図形に関わる活動を通して、知識・技能を身に付けさせる必要があります。

3. 学習の状況

【良いところ】

● 学習意欲 ●

- 「国語の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、5.5ポイント高い。
- 「算数の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、5.2ポイント高い。

● 自尊心・将来の夢や目標 ●

- 「自分には良いところがある」と回答した児童が、全国に比べて、5.4ポイント高い。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が、全国に比べて、7.4ポイント高い。

学習意欲は、国語も算数も全国比を上回っています。また、自尊心も高く、将来の夢や目標を持っている児童が多いです。学年に応じて継続的・系統的に、人権教育、キャリア教育を積み上げてきた成果があらわれていることが考えられます。

【課題】

▲ 家庭学習の時間 ▲

- 「学校以外で普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」
3時間以上：0% 2時間以上3時間未満：0% 1時間以上2時間未満：55.6%
30分以上1時間未満：33.3% 30分より少ない：11.1% しない：0%
- 「学校以外で学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」
4時間以上は0% 3時間以上4時間未満：11.1% 2時間以上3時間未満：11.1%
1時間以上2時間未満：11.1% 1時間より少ない：66.7% しない：0%

家庭学習の習慣づくりが課題として挙げられます。平日の学習時間に比べ、休日の学習時間が少なくなっています。また、全国に比べて学習時間が短い結果となっています。「学習時間が短い」という課題に、「ゲームやスマホの時間が長い」という課題が影響していると考えられます。

4. 調査結果をふまえて（学力向上に向け、子どもたちに頑張らせたいこと）

- ① ゲームの時間やスマホ等の動画視聴時間を減らす。
- ② 自主学習を定着させ、家での学習時間を増やす。

保護者の皆様へお願い

この調査の結果をもとに、学校では、強みを伸ばし、弱みについては日々の学習の中で確かめ、今後の授業改善に生かし、『よくわかると実感できる授業』をめざして取り組んでいきます。しかし、学力の定着には家庭の協力が不可欠です。本年度の学校マニフェスト・PTAマニフェストの目標は「家庭学習の定着、自主学習の定着」です。学校では、「家庭学習の手引き『こんな学習をしよう』」をもとに、学年に応じた取組をしています。ご家庭でも、学習の励みとなるような言葉がけや励ましをしていただきますようよろしくお願いいたします。また、子どもさんとゲームやスマホの時間や使い方を確かめてください。